

# はくび通信

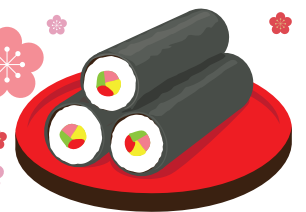
2016年  
2月号



## 節分

新しい一年の始まりに

向けて厄を落とす



### ■季節の節「節分」

年、二月に行われる、節分。節分とは本来、「四季の境目」つまり季

節が移り変わる節を指し、立春・立夏・立秋・立冬それぞれの前日、つまり年四回あったものでした。その中で現在一般的に二月の立春の前日を節分と言っています。立春は冬の節と春の節の変わり目、すなわち一年の境目と考えられた事が、現在の節分の由来とされています。

季節の変わり目である節分は邪気が入りやすいと考えられています。一年の初めである節分には過ぎた年中の罪けがれをはらい清め、前途を妨げる悪魔を追いはらい、新しい門出であるこの節分に将来の幸福を祈る追儺（ついなん）の式を行います。悪魔を追い払う習わしの一つの豆まきでは、五穀の一つで穀霊が宿るとされている事から、大豆を用いて行います。また、生の豆を使い、拾い忘れたものから芽が出てしまうと縁起が悪いとされ、炒った豆が使われます。

### ■今年の恵方は？

## 恵

方とは、陰陽道でその年の干支に基づいて定められた方位のことです。「吉方位」と言われています。今年の恵方は南南東これに五年前の二〇一一年と同じなものです。

恵方と聞いて思い浮かぶもののが「恵方巻き」。節分の夜に恵方に向かって無言で願い事を思い浮かべながら太巻きを丸かじりします。

また、恵方の先にある寺にお参りに行く縁起が良いとされています。ここ尾張地方では名古屋城を中心として四方にある尾張四観音のうちの一つがその年の恵方の寺とされます。尾張四観音とは千数百年以上の歴史のある、笠寺観音・荒子観音・甚目寺観音・龍泉寺観音を指します。毎年恵方の寺は沢山の参拝客で賑わうそうです。今年の恵方の寺は「笠寺観音」です。



## 節分会

厄除け豆まき・星祭

2/3 (水)

受付 万松寺本堂 2階 費用 三千元  
 ※升は別途千円で承ります。

時間 正午～午後5時

お申込・お問合せ ☎052-262-0735

平成28年 厄年表 ◀厄払いをしましょう▶

|     | 前厄     | 本厄     | 後厄     |        | 前厄     | 本厄     | 後厄     |     |     |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|-----|
| 男性  | 平成5年生  | 平成4年生  | 平成3年生  | 女性     | 平成11年生 | 平成10年生 | 平成9年生  |     |     |
|     | 24歳    | 25歳    | 26歳    |        | 18歳    | 19歳    | 20歳    |     |     |
|     | 昭和51年生 | 昭和50年生 | 昭和49年生 |        | 昭和60年生 | 昭和59年生 | 昭和58年生 |     |     |
|     | 41歳    | 42歳    | 43歳    |        | 32歳    | 33歳    | 34歳    |     |     |
|     | 昭和32年生 | 昭和31年生 | 昭和30年生 |        | 昭和56年生 | 昭和55年生 | 昭和54年生 |     |     |
| 60歳 | 61歳    | 62歳    | 36歳    | 37歳    | 38歳    |        |        |     |     |
|     |        |        |        | 昭和32年生 | 昭和31年生 | 昭和30年生 | 60歳    | 61歳 | 62歳 |

※年齢は数え年で表記してあります。

なるほど  
仏教



一年間の願いを込めて…

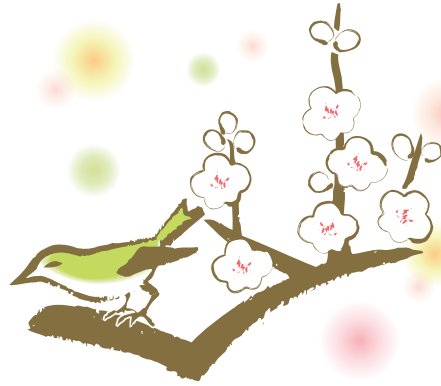
# 立春大吉と鎮防火燭

当山では節分会において御祈禱を受けられた方に、「立春大吉」と鎮防火燭(ちんぼうかしよく)と書かれた二枚の御札をお授けしています。

節分翌日「立春」の早朝に禅寺では門柱に厄除けのため、そして火災を防ぐためにこの二枚の御札を門柱に貼り出します。「立春大吉」は道元禅師様から始まり、「鎮防火燭」は瑩山(けいざん)禅師から始められたと言われています。

## ■鬼が出て行く御札

「立春大吉」は立春の慶びとともに家内安全・諸災消除・五穀豊穰などの願いが込められています。この御札に書かれた「立春大吉」という四文字は全てが左右対称、そして縦書きで書かれていますから、裏から見ても「立



春大吉」と読めるわけです。この御札が玄関に貼ってあると、鬼が家に入ってきて、振り返って裏側から見ると同じように「立春大吉」と読めるため、鬼はこの家には「まだ入っていません」と思い込み、逆戻りして外へ出て行ってしまおう。つまり、鬼が入ってこないから、一年を無事に過ごせるということなんです。

## ■「火の用心」の御札

一方「鎮防火燭」は火を防ぐ御札です。「火燭」とは火災のことで、火災を鎮め防ぐという意味で、火の用心の願いが込められています。文字をよく見ると、

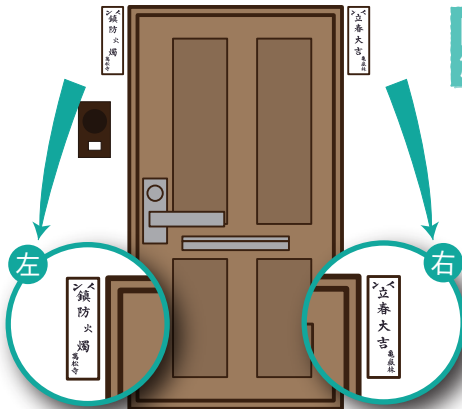
「火」の文字を右端に小さくして、「水」に似せた様にしてあり、火を伏せる意味を持たせて書かれています。

## ■御札の貼り方

立春を慶び、火の用心に心がける御札、ぜひご自宅や職場に貼ってください。

「立春大吉」の御札は玄関入口に向かって右側に、「鎮防火燭」は左側に対して貼ります。また、御札を貼り替える場合、古い御札は返納していただければと思います。万松寺の本堂受付や御守販売所にお持ち下さい。他所で授かった御札でも結構です。

### 図解



◆一年間の家内安全や身体健全の開運祈禱を行いました。(初詣大般若会)



◆海東流神楽太鼓の皆さんによる迫力ある演奏風景。



◆万松寺本堂前の初詣の様子。皆さん様々な思いを込めて参拝されていました。



◆万松寺本堂屋上にある【大梵鐘】をつきました。(除夜法会)

## 万松寺の年末年始



万松寺では今年も例年通り大晦日から新年にかけて、大勢の参拝の皆様で賑わいました。大晦日には、信者さんらに年越しそばなどをお召し上がりいただいた後に名古屋の夜景を楽しみながら

本堂屋上の鐘楼堂にて大梵鐘をついていただいたり、新年を迎えた元旦の零時から本堂にて海東流神楽太鼓の演奏があったりと年が明けたことへの喜びで溢れていました。  
また元旦からはご家族やご友人同士、カップルで参拝をしたり、本堂にて開運を祈って祈禱を受けたり、おみくじを引いて一年の運勢を占ったりと、新しい年への希望に満ちたとても楽しいような風景でした。